

非かんがい期における通水施設の適正管理

平地農業地域

福岡県八女市における活動組織の例

- 県南部の住宅地と農地の混在化が進む水田地帯。集落排水を兼ねた農業用水路が集落内を数多く流れ、非かんがい期は水質の悪化や悪臭が発生していた。
- 本制度により、活動組織が用水の流れを調査し、その結果をもとに水門等の管理を行って維持用水を確保。
- 活動開始以前に比べ、非かんがい期の通水量が増加し、水質や悪臭が大幅に改善。魚が多く生息するようになり、非農業者を含む地域全体で環境保全に取り組む意識が向上。

【地区概要】

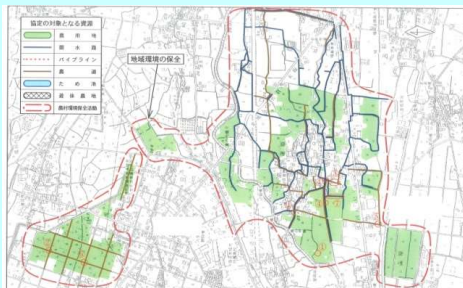
- ・取組面積49ha（田23ha、畑26ha）
- ・資源量 水路12.0km
農道7.5km
- ・主な構成員 水利組合、行政区、
消防団、生産組合、
子供会

・活動内容

農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、県南部の住宅地と農地の混在化が進む、平地農業地域の水田地帯。
- 集落排水を兼ねた農業用水路が集落内を数多く流れ、非かんがい期は、かんがい用水の通水がないため、水質の悪化や悪臭が発生していた。
- また、農業用水を非常時の防火用水として、初期消火に活用していたが非かんがい期には用水量が不足していた。



【集落内を数多く流れる水路】

取組内容

- 活動組織を発足し、集落全体の用水の流れを調査した。
- 非かんがい期は全体に水量が少なくなるが、調査結果をもとに水門等の適切な管理を行って、維持用水を確保した。
- 非かんがい期には、非農業者も含めて水路の清掃活動を行っている。



【非かんがい期の水門操作】

取組の効果

- 非かんがい期の集落内水路の通水量が増加。
〔非かんがい期に通水している水路延長
H19年度:3.6km ⇒ H27年度:10.8km〕
- 水質や悪臭が大幅に改善され、水路にはハヤ・メダカ等が多く生息するようになった。また、非常時の防火用水も確保。
- 活動には非農業者が多く参加しているため、地域全体として環境保全に取り組む意識が向上。



【非かんがい期の水路清掃】